

【R 7年度】重点目標の取組・概要（新行財政改革プランに基づく行財政改革の推進〔行財政改革事業〕）

担当課（内線）	行財政改革課（2219）	重点目標の方向性	未来志向の都市経営
重点目標	都市課題を解決する仕組みづくりの実現	行政の役割	市及び公営企業の経営の効率性を確保する

現状と課題	課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）
・2019年度から行財政再建プランに基づく行財政改革に集中的に取り組み、直面する財政危機の克服と市政の安定に最低限必要な基金の確保を実現したが、行財政基盤が構造的にぜい弱であるという課題は解決されていない。 ・人口減少・人口構造の変化、デジタル化の進展、公共建築物・インフラの老朽化などの社会経済環境の大きな変化に適応するため、市民サービスと行政運営体制の再構築に取り組む必要がある。	【中期的(4～5年後)にめざす成果】 行政の経営資源の最適化と機能的で効率的な行政運営体制の構築 【成果に向けての各年度の進め方】 令和4年度 岸和田市新行財政改革プランの策定 令和5年度～ 各取組の実行、取組の追加検討 【R 7年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】 下記の取組の方策の具体化と実行 ・人的資源の最適化 ・行政DXの推進 ・公共施設の「機能」と「量」の最適化 ・広域行政の推進 ・公民連携の推進 ・自主財源の確保に向けた取組強化 ・市立岸和田市民病院の経営形態の見直し ・「改革の視点」に基づく事務・事業の見直し
R 7年度の事業費（内訳）	

R 8年度以降の想定事業費（ランニング経費）	取組の進捗・成果を測る指標	成果・指標が未達成の場合の取扱い
	（定量的な指標として） 経常収支の改善効果額※（2022→2030） 令和7年度財政計画において、行革により、令和12年度時点で単年度9億円以上の経常収支の改善効果額が現れる見通しを示す。 ※ 経常一般財源の増額と経常経費充当一般財源の削減額の合計	引き続き成果・指標の達成に向けて努力する

【R 7年度】重点目標の取組・ロジックモデル（新行財政改革プランに基づく行財政改革の推進〔行財政改革事業〕）

ロジックモデル【事業立案時点】

--	--	--

財源	他団体の状況	その他（行政サービスとしての適正性について など）

■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- 行政の経営資源の最適化と機能的で効率的な行政運営体制の構築

■ R 7年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）



- 令和5年度～ 各取組の実行、取組の追加

■ R 7年度において実施・実現できたこと

- 令和7年8月末に、『岸和田市新行財政改革プラン』（令和5年3月策定）の取組を推進するため、関係部課の実務担当者で構成するプロジェクト・チーム（PT）を設置した。
 - プロジェクト・チーム（PT）では、8つのグループに分かれて検討・調査を進め、延べ77回の会議を開催
- 【主な取組の進捗状況】
- 「岸和田市人材育成・確保基本方針」及びガイドラインを策定
 - 岸和田市人事給与制度調査審議会を4回開催
 - 岸和田市行政DX推進計画に基づく取組として窓口改革を推進
 - 岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画に基づく再編の推進
 - 岸和田市立社会教育施設再編の検討と推進
 - 岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画（市民プール編）の推進
 - 岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画（テニスコート編）策定に向けた検討
 - 岸和田市文化施設再編の検討
 - 「岸和田市補助金等交付規則」第21条及び「補助金、負担金等適正化基本方針」に基づき、23の補助金についての検証・見直しを実施し、その結果を公表

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指 標 名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R 7 年度実績値
－	経常収支の改善効果額	億円			測定中

■ R 7年度において実施・実現できなかったこと

- ・ 岸和田市新行財政改革プランに定める各取組について、一部前進したものの進捗が遅れている。

■ 課題分析

- ・ 庁内外の関係者に改革の必要性を丁寧に説明し、理解の醸成を図りながら、着実に各取組を前進させる必要がある。

■ ロジックモデルの振り返り



■ 次年度以降の予定・改善内容

- ・ 岸和田市新行財政改革プランに定める各取組を引き続き推進していく。